

教育委員会会議録

1. 日 時 平成 28 年 7 月 21 日(木) 開会 午後 1 時 30 分

2. 場 所 教育委員室

3. 議 事

- 議案第 31 号 後援名義の使用について (1)
議案第 32 号 教育委員会評価について
報告第 17 号 後援名義の使用について(1)
報告第 18 号 寄附採納について
報告第 19 号 後援名義の使用について(2)
報告第 20 号 宿泊型野外活動施設改修等工事に伴う施行業者の決定について
非 報告第 21 号 指定学校の変更について (基準内) (2)
非 報告第 22 号 外国人の就学について

4. 出席者 教育長 國重 英二
委員 齊藤 恵子
委員 高尾 正彦
委員 中橋 孝彦
委員 小川 幸彦

5. 関係者 教育部長 浦田 俊一
教育総務課長 香川 浩基
学校教育課長 大平 美徳
学校教育課主幹 加賀 実
生涯学習課長 森 毅彦
生涯学習課長補佐 三谷 一正
文化振興課長 谷本 秀子
図書館長 小川 俊緒
文化振興課主幹 今井 和彦
書記 教育総務課長補佐 竹村 秀基

6. 署名委員について 國重英二教育長，小川幸彦委員

7. 前回会議録の承認について

6 月 22 日定例教育委員会の承認について高尾委員より報告

会議録は詳細かつ正確であった旨の報告あり。

8. 非公開案件について

報告第 21 号、報告第 22 号については個人情報に関わるものであり、非公開とすることについて挙手による採決を行った。

〈結果〉

多数決により非公開とすることに決定。

9. 議案・報告についての審議

文化振興課所管

報告第 17 号 後援名義の使用について

説明者:文化振興課長

後援名義の使用について説明を行う。

◆質疑・意見

特に発言する者なし。

報告第 18 号 寄附採納について

説明者: 図書館長

起業家支援に協賛しその図書購入のため寄附される図書カードについて説明を行う。

◆質疑・意見

特に発言する者なし。

生涯学習課所管

議案第 31 号 後援名義の使用について

説明者:生涯学習課長

後援名義の使用について説明を行う。

◆質疑・意見

特に発言する者なし。

〈結果〉

教育長は各委員に諮り、原案のとおり可決した。

報告第 19 号 後援名義の使用について

説明者:生涯学習課長

共催・後援名義の使用について説明を行う。

◆質疑・意見

特に発言する者なし。

報告第 20 号 宿泊型野外活動施設改修等工事に伴う施行業者の決定について

説明者:生涯学習課長

宿泊型野外活動施設改修等工事の施行について説明を行う。

◆質疑・意見

特に発言する者なし。

議案第 32 号 教育委員会評価について

説明者：教育総務課長

平成 27 年度に実施した教育委員会の活動内容を，4 名の評価委員により評価・指導いただくことについて説明を行う。

◆質疑・意見

◇委員

昨年は評価委員の方からの指導があったのか。

<回答>

教育総務課長

各課の判断基準が一定ではないようなので統一できないか，予算を使いきったから評価が良いのではなくて，予算が無い中でもできたものは評価が良くてもいいのではないかな等のご意見を頂いた。

◇委員

各課の評価基準は統一できるのか。

<回答>

教育総務課長

評価項目の捉え方を説明しており，ある程度は統一できると思われる。

◇教育長

予算があり成果がでているものもあれば，施設に関しては予算があり計画的に対応しても市民の方からみると施設が古い等の問題もある。計画通りにできたから A 評価なのか，全体的に考えると A 評価までは言えないのか等の問題がありますが，どの部分を評価したのかを自己評価説明の中で表現するよう努めている。

◇委員

評価に対する説明が妥当だと思われる。

◇委員

教育総務課の放課後子ども教室が普及していない要因は。

<回答>

教育総務課長

国は，放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携を進めようとしているが，本市が現在実施している子ども教室は，主に週末を利用しての体験活動が中心である。子ども教室を実施するには，中心となるコーディネーターが必要であり，地域で活動していただける方の確保が難しい状況である。

<結果>

教育長は各委員に諮り，原案のとおり可決した。

10. 閉会 午後 2 時 45 分

11. 次回定例委員会日程

8 月 24 日(水)午後 1 時 30 分より

以上，会議のてん末に相違ないことを証します。

平成 28 年 8 月 24 日

教育長 國重 英二

署名委員 小川 幸彦